

疾患の治療と看護Ⅱ	1年・後期	1単位 15時間	准教授 丸澤遊
科目カテゴリー	看護の対象の理解	科目ナンバリング	32210311

1. 授業のねらい・概要

学生が、看護実践を遂行するために、健康障害や疾病の成立過程および疾病のメカニズムと、その看護に必要な科学的根拠を理解することを目的とする。

学生は、疾患の治療と看護Ⅱにおいて、循環器疾患とその治療および看護について理解する。

2. 学修の到達目標

1. 虚血性心疾患の定義、種類（労作性狭心症・冠攣縮性狭心症・不安定狭心症・急性心筋梗塞）、原因、症状、治療、予後について述べるができる。（D-2）
2. 虚血性心疾患の患者に対する適切・的確な看護を説明できる。（D-2）
3. 不整脈の定義、種類（頻脈性不整脈・徐脈性不整脈・致死的不整脈）、原因、症状、治療、予後について述べるができる。（D-2）
4. 高血圧の定義、種類（本態性と二次性）、原因、症状、治療、予後について述べるができる。（D-2）
5. 心不全の定義、種類（右心不全と左心不全）、原因、症状について述べるができる。（D-2）
6. 弁膜症・心筋症・先天性心疾患・動/静脈系疾患の原因、症状、治療、予後について述べるができる。（D-2）
7. 心不全の患者に対する適切・的確な看護を説明できる。（D-2）

3. 授業の進め方

テキストに基づく資料を用いた講義を中心に進める。

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして小テストを用いる。

【ICT 活用の有無】

ICT 活用の実施：Classroom 等による、学習課題や学習教材の提示・配信、学習課題の提出等。

4. 授業計画（講義）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	虚血性心疾患：診断と治療 1) P128～142	講義	予習：授業内容に示したテキスト該当ページを読み、わからない言葉を調べる。小テストに関する課題に取り組む。 復習：範囲の国試問題を5問以上解いて、重要事項を理解・把握する。	丸澤遊
2	虚血性心疾患：診断と治療 2) P143～157	講義	予習：授業内容に示したテキスト該当ページを読み、わからない言葉を調べる。小テストに関する課題に取り組む。 復習：範囲の国試問題を5問以上解いて、重要事項を理解・把握する。	丸澤
3	虚血性心疾患患者の看護 P242～250, 318～328	講義	予習：授業内容に示したテキスト該当ページを読み、わからない言葉を調べる。小テストに関する課題に取り組む。	丸澤

			復習：虚血性心疾患患者に対する看護のポイントをまとめる。	
4	不整脈：診断と治療 P181～206	講義	予習：授業内容に示したテキスト該当ページを読み、わからない言葉を調べる。小テストに関する課題に取り組む。 復習：範囲の国試問題を5問以上解いて、重要事項を理解・把握する。	丸澤
5	弁膜症・心筋症・先天性心疾患・動/静脈系疾患：診断と治療 P207～211, 213～216, 220～234	講義	予習：授業内容に示したテキスト該当ページを読み、わからない言葉を調べる。小テストに関する課題に取り組む。 復習：範囲の国試問題を5問以上解いて、重要事項を理解・把握する。	丸澤
6	心不全：診断と治療 P158～171	講義	予習：授業内容に示したテキスト該当ページを読み、わからない言葉を調べる。小テストに関する課題に取り組む。 復習：範囲の国試問題を5問以上解いて、重要事項を理解・把握する。	丸澤
7	心不全患者の看護 P328～369	講義	予習：授業内容に示したテキスト該当ページを読み、わからない言葉を調べる。小テストに関する課題に取り組む。 復習：心不全患者に対する看護のポイントをまとめる。	丸澤
8	高血圧：診断と治療 P171～181 定期試験	講義 試験	予習：授業内容に示したテキスト該当ページを読み、わからない言葉を調べる。 復習：定期試験で間違ったところを復習する。	丸澤

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上出席した者）86％，小テスト14％，平常点で総合的に評価する。
成績評価は、「2.学修の到達目標」に示した評価観点ごとに、ルーブリック評価を基に、5段階評価で採点する。尚、ルーブリック評価に関する詳細は、第1回講義内で説明する。
定期試験の出題範囲および出題方法等は、事前に口頭で提示する。
課題で示す範囲の小テストを1～7回の各授業冒頭に行う（2点 x 7回＝14点）。

6. テキスト・参考文献

テキスト：吉田俊子他（2024）系統看護学講座専門Ⅱ 成人看護学[3]循環器 医学書院

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

授業計画の1回の授業範囲および事前事後学修（学修課題）について、最低90分の予習および最低90分の復習を行うこと。
「人体の構造と機能」の授業で学習した知識を必要とする。

8. 受講上の留意事項

授業中の私語や授業に関連しない行動は、平常点として評価対象とする。
授業時間開始後に、教室の入室および退出を無断で行うことは慎むこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

定期試験終了後、口頭、掲示またはメールで説明する。
講義時間以外に、随時、メールで問い合わせを受け付ける。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目である。(履修要項・学生便覧参照)

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護師としての実務経験を活かして、講義を行う。